



# 如意ヶ丘

《発行》平成19年12月20日

## 創立80周年



H19. 10. 05 高岡文化ホールにおいて

## ごあいさつ



同窓会長  
林 秀治

一雨ごとに寒さのつるこの頃、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、本年、母校は創立80周年という輝かしい年を迎え、去る10月5日(金)高岡文化ホールにおいて、来賓、同窓生、PTA、教職員、在校生等合わせて600名余の出席を得て、記念式典が行われました。出席された方々からは、「厳粛な中にも温かみのある伏木高校に相応しい式典であった」というお褒めの言葉をいただき、17年度の実行委員会発足時から準備等に携わってきた者の一人として何とも有難く肩の荷がおりたような気持ちであります。式典の様子は、母校のホームページでも紹介されておりますので是非ご覧いただきたいと存じます。

さらに、創立80周年の記念事業として掲げた国際教育・交流活動を支援するための国際教育基金の充実、正門の門柱リニューアル、体育館のピロティの人工芝敷設、記念誌の刊行等も当初の目標を達成することができました。これも偏に温かいご理解とご支援をいただきました皆

様のお陰と衷心より厚くお礼申し上げます。

12月13日(木)、第二学年の語学研修団第一陣がロシアでの7泊8日の語学研修を終え無事帰国いたしました。どの顔も充実した研修の興奮がさめやらず、このような研修ができることへの感謝の気持ちとさらに学習を深めたいという意欲に輝いているように見受けられました。皆様からお寄せいただきました篤志はこのような教育活動に有効に活用させていただいており、心から感謝申し上げます。

本誌面でもお知らせいたしておりますが、先般、関東如意ヶ丘同窓会及び関西支部において恒例の総会が盛大に行われました。また、80周年を機に回別同窓会の結束がさらに固まったという報告も多々受けており、まことに喜ばしい限りであります。

末尾ではありますが、同窓諸兄のますますのご健勝ご活躍を祈念いたしますとともに母校のさらなる発展を祈念しご挨拶といたします。

# 日中韓3カ国交流が実現



学校長  
田中春男

平成19年は、記念すべき年となりました。  
昭和2年、地元の熱い要請を受け、伏木町立伏木商業高校として設立されて以来、創立80周年の節目を迎えました。10月5日、ロシア・ハーモニー校の校長以下14名の訪問団も参列し、高岡文化ホールで厳かに式典が挙行されました。記念公演・祝賀会と滞りなく終えることが出来たのは、ひとえに如意ヶ丘同窓会員の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご支援のお陰であり、心から御礼を申し上げます。

特に、この2年間、記念事業の達成に一丸となって奮闘された林会長をはじめ役員の方々には深く敬意を表するものであります。

全学年が国際交流科に揃った今年、「日中韓友好校交流会」が実現しました。7月24日、中国大連市第十二中学から50名、韓国水原市清明高校から40名の生徒を同時に迎え、盛大に歓迎式を行い、文化交流を通して友好を深めることができました。

翌日、バス5台を連ねて、立山室堂に登りま

した。あいにくの濃いガスで雄大な峰々は姿を現しませんでした。3カ国の生徒がグループになって室堂周辺を散策し、昼食時、ホームステイのお母さん方がこしらえたおにぎり弁当をおいしそうに食べ、談笑している光景は実に微笑ましいものでした。グループ毎にゴミを拾いながら歩いたのですが、どこにも落ちていない中国や韓国の生徒たちはとても驚いていたようです。

今後、国と国との垣根を越え、地球環境や平和について語り合い協力し合うことは、そんなに難しいことではないと実感しました。

12月には、2年生がロシア・中国・韓国へそれぞれ語学研修にでかけます。早速、国際教育基金の恩恵に預かりますが、是非とも有意義な研修にしたいと思います。

今後とも、母校に変わらぬご声援を頂きますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶といたします。

## 総会報告

## 伏木高校如意ヶ丘同窓会

如意ヶ丘同窓会総会は、8月14日、16時より高岡商工ビルで開催された。議事は、議長を兼任した林会長によって進められ、全ての案件について満場一致で承認された。

続いて、生徒による韓国と中国での語学研修旅行に関する報告があり、ホームステイを通して逞しく成長している

様子に、会場から盛大な拍手が送られた。

その後の懇親会は、終始和やかな雰囲気が進み、それぞれに旧交を温めた。最後には、声高らかに校歌を合唱し、来る創立80周年記念式典に向けて志気を高めた。

● 本部 新役員	会長	島田 博司(伏高27)
	林 秀治(北高8)	松嶋 浩二(伏高31)
	副会長	数田 昭久(伏高34)
	本元 千智(北高6)	宮越 一郎(伏高40)
	戸沢 克行(伏高10)	監 事
	高井 逸朗(伏高13)	山本勇喜雄(北高7)
	山下 利一(伏高15)	牧野 貞夫(伏高10)
	牧 亨(伏高16)	顧 問
	嶋 安夫(伏高17)	山下 和夫(北高3)
	神島 高志(伏高17)	中尾 正(北高6)
	山口 正志(伏高18)	横田 安弘(伏高13)
	佐野 邦明(伏高21)	盤若 進二(伏高20)
	宇加江 隆(伏高23)	石須 大雄(伏高38)
	小泉 哲二(伏高26)	田中 春男(校長)

● 関東 支部役員	会 長	中澤 隆範(伏高26)
	酒井 敬司(北高6)	宮澤 正美(伏高30)
	副 会 長	事務局長
	丸山 彩子(北高3)	山岸 清(伏高17)
	榎 靖子(北高6)	会 計 長
	深原 明(北高7)	北山 雅子(伏高14)
	川 善市(北高8)	会 計 監 査
	金子 京子(北高8)	岸 晴夫(伏高17)
	鶴谷 浩二(北高9)	顧 問
	林 尚武(伏高12)	根木 佐明(伏商6)
	浜 陽子(伏高35)	泉田 健夫(伏商10)
	常任幹事	正和勝之助(伏商10)
	能見 正子(北高6)	清水 正(伏商13)
	作道 浩一(伏高10)	林 秀治(会長)
	金山 仁子(伏高16)	田中 春男(校長)
良峰 俊治(伏高19)		

● 関西 支部役員	支 部 長	支 部 長
	本元 憲明(北高1)	本元 憲明(北高1)
	副支部長兼会計監査	副支部長兼会計監査
	秋元 研三(北高1)	秋元 研三(北高1)
	事務局長	事務局長
	山岡 巖(伏高16)	山岡 巖(伏高16)
	副事務局長	副事務局長
	鶴谷 正昭(伏高16)	鶴谷 正昭(伏高16)
	会 計	会 計
	奥 誠三(北高7)	奥 誠三(北高7)
	幹 事	幹 事
	青木 勝栄(伏高6)	青木 勝栄(伏高6)
	高田 昌彦(伏高6)	高田 昌彦(伏高6)
	秋常 陽一(北高6)	秋常 陽一(北高6)
	顧 問	顧 問
麦谷 実(伏商9)	麦谷 実(伏商9)	

## 関東支部 より



副会長 川 善 市 (北高8回卒)

第11回関東如意ヶ丘同窓会総会は、平成19年11月17日(土)正午より渋谷駅に隣接した東急エクセルホテルにて開催された。当日は母校80周年を祝す会もあり会員37名、来賓9名、合計46名ご出席のもと、金子副会長の開会宣言をもって開始された。

第一部総会では、酒井会長の挨拶に続き平成18年度事業報告、会計報告、会計監査報告などが、山岸事務局長、北山会計長、岸監査役からなされ、それぞれ満場一致で承認された。

今年度は役員改選期にあたり、本会規則に則り改選の手



続きに入った。榎副会長から先の役員会における酒井会長の再任推薦の様子が伝えられ、席上全員一致で承認された。引き続き会長から再任役員、新役員の委嘱が伝達され、新役員として鶴谷浩二、浜陽子の両副会長、作道浩一、金山仁子、良峰俊治、宮澤正美の四常任幹事が紹介され就任することとなった。

総会終了に続いて、東京富山県人会連合会稲場副会長、東京富山県事務所柴田所長より母校創立80周年を祝う温かいお言葉をいただき、また田中学校長、高井同窓会本部副会長のお二人からは80周年式典の模様、生徒の国際交流の現状などが熱く語られた。

第二部の親睦会には、ご多忙にもかかわらず本総会に駆けつけて下さった昭和女子大学長坂東眞理子さん（ベストセラー「女性の品格」著者・立山町五百石出身）の乾杯のご発声で開始された。

新副会長浜陽子さん（テイチク専属歌手）の美声に合わせて、名調子おわら節では踊り上手な女性に混じって酒井会長の手踊りも飛び出して会は大いに盛り上がり、三時間に及ぶ会合も和気あいの雰囲気の中で終宴を迎えた。

深原副会長の次回総会へのお誘いでお開きとなったが、参加者は郷土の香り漂う北日本新聞、富山新聞の当日の朝刊二紙（両社のご厚意による）、学校発行の80周年記念誌「80年のあゆみ」、更に坂東眞理子著「女性の品格」などが入った包みを手に家路につくこととなった。



## 関西支部より

事務局長 山岡 巖（伏高16回卒）

完成70周年記念の「御堂筋パレード2007」が挙行された去る10月14日御堂筋に隣接する道頓堀の「くいだおれ」において第11回関西支部総会が開催されました。

同窓会本部から山下利一・高井逸朗の両副会長及び母校から田中春男学校長をお迎えして総勢35名で和やかな雰囲気の中に午前11時開会され、冒頭 全員起立で物故者への黙祷を捧げました。

開会挨拶の麦谷支部長は10月5日の母校創立80周年記念式典において、県知事をはじめ、お歴々をご列席の晴れ舞台で、永年の同窓会活動に寄与された功績に対して表彰を受けられ、感謝状を拝受されたことが司会者から紹介されると会場の一同は万雷の拍手をもってその労をねぎらい、喜びを分かち合いました。

続いて山下副会長からこの式典に関西支部より複数の役員が参列したことに対し謝意を頂き、また80周年記念募金の協力に御礼を述べられました。

学校長からは式典で関西支部を代表しての祝辞（秋元役員）に感銘したこと、母校がメディアに取り上げられるのが県内で突出していること、それは国際交流の実績やクラブ活動・社会奉仕などが評価されていることなど、お話しいただきました。

次に会計報告など議事が進行し、本総会では役員改選期にあたるので新役員選任の議事に移り、かねてより麦谷支部長は勇退の意思を強固に表明されていた関係もあり、それも含めた新しい役員案が上程され、これを出席者に諮ったところ満場一致で承認されました。新役員は全員前へ出て起立整列し、新支部長 本元憲明様が代表で新任あいさつをされました。新役員及び役職は別記の通りとなります。勇退の支部長には盛大な拍手が送られました。

以上で議事はすべて終了し、最後に本部から支部への活動助成金が高井逸朗副会長から新支部長に授与され、第2

部の懇親会に移る前に全員での集合写真が撮影されました。

休憩を挟んでの懇親会は川田豪之様（北高7回卒）の乾杯の発声で始まり飲み放題セットの料理でさしつさされつ各自思い思いに昔話を花を咲かせ、やがて恒例の富山名産品争奪のジャンケン大会が鶴谷副事務局長の主導で行われました。

商業・高校の校歌は全員肩を組み輪になって高らかに斉唱し学窓時代を偲びました。

箸が進んだところで山下副会長から毎年同窓会会報「如意ヶ丘」を発行しているが是非とも購読を願いたいとのコメントがあり、これは2千円で登録すれば以後5年間無償で住所に届くことになり母校の動向を知ることが出来ます。多数のご参加を望むところです。

閉会時間も近づき高井副会長の関西支部発展を祈念しての万歳三唱を全員で唱和し、あと御堂筋パレードの観覧やカラオケ大会が控えているので、中締めとして秋元副支部長による一本締めで総会および懇親会をめでたく終了しました。





# 創立80周年記念式典

## 創立80周年記念式典盛大に挙行される



去る10月5日、高岡文化ホールにおいて、本校の創立80周年記念式典が盛大に挙行された。生徒・職員に加え、来賓・同窓生・保護者を合わせ、約600名が参加した。

本校の琴部（全国大会出場）と茶道部による「和」のおもてなしで歓迎し、式典では、学校長の式辞・実行委員長の挨拶に続き、県知事・県議会議長・県教育委員会委員長・高岡市長・本校と友好校のロシアハーモニー校の校長から祝辞をいただいた。その後、生徒会長が喜びの言葉を述べ、校長から感謝状（門柱・人工芝敷設業者、同窓会役員功労者）、同窓会長から表彰状（永年勤続者）の授与が行われた。最後は、伏木商業学校校歌と伏木高等学校校歌を声高らかに合唱し、式典の幕を閉じた。



記念ステージは、タイ・カンボジア国境の難民キャンプを始め、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療支援活動を行っている桑山 紀彦（山形県の精神科医）氏らによるNPO法人「地球のステージ」を招いた。

貧困や戦場の映像とオリジナルの音楽がシンクロナイズする中、桑山氏のメッセージ性の強い語りを聞いて、感銘を受けるとともに、現在の自分たちを見つめ直すいい機会となった。参加した方々からは、国際交流科に相応しいステージだったと好評だった。

## ～「地球のステージ」生徒の感想より～

- ・どんなに貧しくても、戦争で家が焼けても、あんな笑顔で明日を信じている人たちがいるのだと思うと、自分も力強く生きなければいけないと思った。
- ・世界では、戦争や貧困、災害などに苦しんでいる人がこんなにも多くいることに大きなショックを受けた。恵まれていて何の不自由もない生活をしている自分が情けなくて悔しくなった。
- ・どの国の子供たちもとてもいい笑顔だった。あの子たちから見れば、恵まれすぎているくらいなのに、あんなに心の底から笑える自分がない。今の自分にできることは何だろう…。
- ・ゴミの上で生活している人々の写真は、特に衝撃的だった。私は、何不自由なく生活しているのに、「だやい」、「めんどくさい」などとよく言うことがある。とことん恥ずかしくなった。時々、涙が出て、自分も精一杯生きたいと思った。
- ・世界の知らないところでは、私にとって当たり前な事が当たり前ではなかった。子供もずっと働いていて、家族のためにお金を稼いでいて、すごく悲しかった。
- ・周りの環境が悪くても、子供たちはその中で伸び伸びと過ごしていると思った。話を聞いていて、素直になりたいと思った。



八北 回 卒 高 問 林 秀 治	伏木海陸運送(株)	三北 回 卒 高 代 表 山下和夫	山産商会	八北 回 卒 高 所 長 松長一雄	松長社会保険労務士事務所	九北 回 卒 高 代 表 取 締 役 布野彰一	東光産業(株)	十伏 回 卒 高 代 表 戸澤克行	(有)日光商事	十三伏 回 卒 高 代 表 取 締 役 高井逸朗	高建設(株)	十九伏 回 卒 高 代 表 取 締 役 山口正志	東洋通信工業(株)	二十六伏 回 卒 高 代 表 取 締 役 小泉哲二	昭和運輸(有)	二十七伏 回 卒 高 取 締 役 島田博司	島田工業(株)	二十七伏 回 卒 高 院 長 井上人士也	井上動物病院	三十四伏 回 卒 高 代 表 取 締 役 数田昭久	(株)ローリング	四十伏 回 卒 高 代 表 取 締 役 宮越一郎	宮越工業(株)
------------------------	-----------	-------------------------	------	-------------------------	--------------	-------------------------------	---------	-------------------------	---------	--------------------------------	--------	--------------------------------	-----------	---------------------------------	---------	-----------------------------	---------	----------------------------	--------	---------------------------------	----------	--------------------------------	---------

## 創立80周年記念祝賀会

本校創立80周年記念式典が行われた10月5日、18時より、高岡商工ビル2階ホールにおいて、来賓・同窓会員・職員ら約140名が出席して、創立80周年記念祝賀会が開催された。

このおめでたい席で、本校ゆかりの方々（琴演奏・本校琴部の講師小谷晃子様、尺八演奏・本校同窓生東海焯山様、舞・本校同窓生で学校評議員の尾上菊富世様）による祝儀舞「八千代獅子」が披露され、祝賀会に華を添えた。

田中春男校長、林秀治同窓会長の挨拶に続き、横田安弘県議会議員、盤若進二高岡市議会議員による祝辞、吉原節夫高岡法科大学学長による乾杯で、宴は華やかに幕を開けた。



関東如意ヶ丘同窓会 酒井敬司会長、如意ヶ丘同窓会関西支部 秋元研三監事、西井秀子前校長、重原栄良元校長によるスピーチが行われ、会場は和やかな雰囲気にも包まれた。

祝賀会には、ロシア ハーモニー校 オリガ・ムイズギナ校長他3名の教職員も参加。ロシアの民謡「カリンカ」を披露するなど、国際色豊かな盛り上がりを見せた。

終わりに伏木商業学校校歌、高岡北部高校、伏木高校校歌を大合唱、石須大雄高岡市議会議員、田中校長による万歳の後、盛況のうちに祝賀会はお開きとなった。



## 第二体育館ピロティ人工芝敷設 - 80周年記念事業 -

創立80周年記念事業の一環として、本校第二体育館ピロティ（多目的雨天練習場）に人工芝が敷設され、10月19日に披露式が行われた。総工費660万円、面積700平方メートル。これまでは砂が敷かれていたが、砂ぼこりが立つため改修した。式には、練習場を使う運動部員ら約50名が出席。山下利一同窓会副会長があいさつし、田中春男校長、沈道静生徒会長（2年）が感謝の言葉を述べた。式後に、サッカー部員による練習が披露された。



### 感謝の言葉

私たちの伏木高等学校が創立80周年を迎えました。その記念事業のひとつとしてこのような素晴らしいピロティに改修していただきました。

このピロティは運動部の盛んな本校生徒が雨天時の練習場所として長年待ち望んだものです。また、体育の授業や学年の集会など多目的に活用できます。私たち生徒にとりまして、こんなに喜ばしいことはありません。これも、如意ヶ丘同窓会の皆様のおかげと、心より御礼を申し上げます。

私たちはこれからも伏木高校の生徒であることを誇りとして、学習にも部活動にも一生懸命に努力したいと決意を新たにしております。

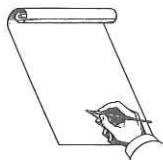
本当にありがとうございました。 生徒会長 沈道静

## 第22回 如意ヶ丘グリーン会

開催日 平成19年4月14日(出)  
開催場所 氷見カントリークラブ

優勝	富岡	利治(伏高19回)
次勝	大山	勝好(北高7回)
3位	桜井	賢政(北高2回)
4位	米田	修(伏高19回)
5位	山田	桑雄(旧職員)
6位	田中	清(北高9回)
7位	杉沢	武俊(伏高19回)
8位	納藤	稔(伏高13回)
9位	上野	宏芳(伏高14回)
10位	沢武	博(伏高26回)

十四回 高卒 代表取締役 <b>上野宏芳</b>	十五回 高卒 代表取締役 <b>中山勝儀</b>	十五回 高卒 代表 <b>山下利一</b>	十六回 高卒 代表取締役 <b>牧亨</b>	十七回 高卒 代表取締役 <b>神島高志</b>	十四回 商 理事長 <b>山崎孝之</b>	十三回 高卒 代表取締役専務 <b>松嶋浩二</b>	二十回 高卒 代表取締役 <b>佐野邦明</b>	六北回 高卒 <b>如意ヶ丘同窓会副会長 本元千智</b>
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------



## 尽きせぬ躍進を目指しての追憶

重原 栄良 (12代校長)

去る中秋は10月5日、創立80周年記念式典、行事が盛大に行われ、旧職員の一人として感激ひとしお、万感胸に迫るを覚えました。昭和53年度僅かの1年間でありましたが、着任早々地元と地域のPTAの最も関心事であります上級大学への進学の実績への期待に着目しました。幸いにも精魂を尽くされる先生方に恵まれ、折りよく、女子生徒が入学時成績中位で入学しながら、在学中成績を上昇させ、国立大学の経済学部へ入学した実例を元に、そのような具体例を数件引っ提げて市内の8中学を定め、教務主任と同道で各校を歴訪し、成績の良い生徒は別として、やる気のある生徒2～3名を目標に進学を本校へと奨めてもらうよう懇請しました。全く私学もどきの勧誘ぶりを今懐く想い出しております。学校回りの本校出発する私ら2人に「どうか頑張ってきて下さい」と進学係の先生方が、激励に出られる始末、何と頼もしい結末、進学面で伏木中学から氷見高校への進学者が20名、その逆に氷見の各中学から伏木高校への入学生が20名という交換現象に悲憤慷慨したものでした。

果たせるかな！その3年後は、私が高校へ転出してしまっておりましたが、伏木高校から国公立大学へ41名合格という情報が入り、我が意を得たりで、先生方の熱心なご指導と相俟ってのこと、この成果に感銘したのでした。

次に生涯の作法として、挨拶の励行を特に強調しました。始業時直前校門へ出て、生徒諸君を迎え、笑顔で元気よく挨拶を毎朝交わしました。年度当初の職員会議で、先生方も校内で自ら声掛けされるよう要望したのでした。遅刻の防止にもなり、このすがすがしい朝の行事は約1ヶ月半位でその目的を達成して、今度は生徒諸君の方から、挨拶をするようになりました。式典会場での通路で、生徒の会釈に伝統の重みを感銘しました。

ここに、教職員の方々並びにご父兄の皆さんからのご厚情を飲み尽くして、充実した如意ヶ丘学園の日々を送らせていただいたことに心から感謝申し上げ、さらには生徒諸君の躍動、向上を念じつつ擱筆します。



## 「校庭(グラウンド)」をめぐる郷愁

岸 晴夫 (伏高17回卒)

三年前、同期である関東如意ヶ丘同窓会事務局長、山岸君からの誘いがきっかけで関東如意ヶ丘同窓会のメンバーになり、そして役員にまでさせてもらった？そんな関係で今回の伏木高校創立80周年式典に山岸君ともども出席させてもらった。その後の懇親会は楽しく交友を深め、高校時代の話に花を咲かせてた時、山下副会長から「学生時代の思い出を是非寄稿して下さい」との突然の依頼…酒に酔っての軽い返事が大事になってしまった！さて帰郷したのも同級生のクラス会も兼ねての事で、参加者25名ほとんどが42年振りに豊田先生(80歳)にお会いし(現在も現役でお寺の住職をされており、元気いっぱい!)、皆懐かしさで話尽きなく、ひと夜を過ごしました。

翌朝の別れ際、遠方から参加したもの同志で「高校へ行って見よう」のかけ声でわが母校の校庭に行って来ました。私はすぐに「校庭のグラウンド」に思いを馳せていました。と言うのも私の学生生活は一言で「野球漬け」でした。42年振りに校庭のグラウンドに立った時、周りの家並、小高い丘の風景、何度も塗り直しただけのバックネット、息する空気までもが当時のままでした。変わったのは、フワとしたような一面黒々としたグラウンドの土です。その柔らかい土を踏みながら43年前の水はけが悪く、晴天が続くと固いコンクリートのヒビ割れ状態になるグラウンドが思い出され、感傷的な気持ちが押し寄せてきました。

私が2年生の時、先輩達にしごかれても、理由もなく殴られても、それでも無我夢中で練習に打ち込んでいました。そして邪心がない最高の状態で臨んだ春の大会では、牧投手(現副会長)を擁して、私が4番を務め、そこそこの成績を残し、この勢い「夏は甲子園へ！」と夢をふくらませていました。強化合宿へと突入し、野球のスポ魂ドラマのようなお決まりの真っ暗になり、ヘトヘトになるまで練習…練習。部員全員マウンド上で部歌を合唱し気持ちを鼓舞させました。そして、忘れることの出来ない日、合宿終了2日前のことです。疲労がピークに達していた時、その日の最後のスライディングの練習、先輩の「スプレー」の号令の下、セメントのように固くなったセカンドベース上に次々と滑って行く…いよいよ自分の番に「お尻擦りむくと嫌だなあ」と軽い気持ちで「エイ」と左足から勢いよく滑り込む。「ポキン！」ハッキリ大きな骨折音、あとは気絶状態。その夏の大会は、松葉杖の姿でベンチでの応援でした。結果は初戦敗退、これが最後になった先輩達に申し訳ありませんでした。大変に思い出深いグラウンドの土も、数年前に牧先輩達のご尽力で甲子園の土と同じ土に入れ替えたと言われました。43年前の古傷痕を眺めながら、時の流れを感じた次第です。

還暦を過ぎて人生ひと区切り、忘れることのできない出来事が、今では懐かしく思われるのは私一人ではないはず。同窓会関係の皆様のご健勝・ご発展を祈念し、今度またお会いできる時を楽しみにしています。





## 教育実習を終えて

清水 雄太 (伏高56回卒)

私は伏木高校の卒業生であり、予てから伏木高校で教育実習をさせていただくことを望んでおりました。幸い、今年の5月下旬から3週間、生徒としてではなく、教育実習生として再び伏木高校にお世話になることが出来ました。まず、その教育実習を通じて経験できたことは、僅かながら教えることの難しさと同時に教えることの喜びを知り得たことでした。教える立場でも学ぶものより、より多く勉強し、生徒に分かり易く伝えることが必要であること、また生徒が理解してくれた時の表情や目の動きは、教える側の励みになるということ身を以って体験することができました。このように教師という立場から学校や生徒を見ることは、新しい発見であり自分の人生にとって貴重な経験になりました。

私は強豪校でサッカーがしたいと思い伏木高校に入学しました。高校時代、部の顧問であった谷内先生から受けた指導は、サッカーのことはもちろん、私生活における指導も大変多かったように感じます。サッカー部の一員である前に、伏木高校の一員であることを常に自覚するようにと度々指導を受けました。現在私は大学で、体育会のサッカー部に所属しており、挨拶は出来ていると思っておりました。ところが、教育実習に来て再認識しましたが、伏木高校生は今の大学生の挨拶と比べようの無いほどしっかりとした挨拶が出来ております。廊下で会うたびに声をかけられ、元気の良いたすがすがしい挨拶にとっても感心させられました。「サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にするスポーツである。」という、谷内先生がよく使い、私も非常に好きな言葉であります。何かこの言葉が伝統として根付いているような感じを受けました。

また、運良く、教育実習の時期と高校総体の時期が重なり、サッカーの試合の応援に行くこともできました。後輩たちが富山県の代表をかけて戦う姿を見て非常に頼もしく感じ、とても嬉しく思いました。高校時代の記憶が鮮明によみがえり、懐かしく思う気持ちと同時に、戻ることができないことを残念に思う気持ちも生まれました。高校生活がとても素晴らしい時期であり、伏木高校がとても素晴らしい学校であると改めて感じ、この素晴らしい学校を卒業できたことを誇りに思います。素晴らしい先生方、素晴らしい仲間、先輩後輩、保護者に出会えたことにとっても感謝しています。

そして卒業した後もこうして伏木高校と関わられたことで、また新たな出会いがありました。実習でお世話になった先生方、生徒のみなさん本当にありがとうございました。

最後になりましたが、これからの伏木高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 同期会報告

### 富山県立伏木高等学校44回(1992年)卒業生同窓会の開催を終えて

鷲山 貴俊 (伏高44回卒)

平成19年8月13日月曜日ホテルニューオータニ高岡にて、1992年卒業生の同窓会を開催いたしました。きっかけは、同級生の1人が、俺たちの同窓会っていつやるんだ?という一言から、スタートしました、ちょうど15年ぶりという区切りでなのでそれなら一度やってみようかということで開催することを決めました。

同窓会のテーマは、「まず仲間、次も仲間」と題して、再会を懐かしむことは勿論、次に繋がるようなそんな出合いを演出したいとこのテーマを掲げました。

それが決まればまずは、同窓会実行委員会の発足です。メンバーは全員で11人、それぞれ役割分担を決めチームを作り、参加者に楽しんでもらいたいという思いを大切に、協力をして進めて参りました。そのかいもあって、当日はなんと110名の出席!恩師の先生方にも多数参加をいただきました。

そして、受付がスタート、続々と参加者が集まってきます、15年振りともあって、初めはみんな少し戸惑いながらの緊張した面持ちでの再会でしたが、10分もしないうちに和気藹々とした雰囲気徐々に包まれていきました。

高校時代のスライドを流しながら開演を待ち、みんな自

分を見つけては、大はしゃぎ。そして遂に開宴、音楽とナレーターの紹介にあわせ先生の入場、会場内は大きな拍手で包まれました。

そして、先生方から一言ずつ挨拶、参加できなかった先生からは、ビデオレターでコメントをいただきました。

その後、先生方の若い頃の写真の上映など、盛りだくさんの企画内容でした。

特に「先生への質問タイム」の企画では、「体罰は必要か?」など、今の時代を反映したような質問では、先生方も白熱した意見をぶつけ合い、先生方の教育に対する熱い思い、考え方なども聞かせていただきました。

2時間30分という時間はあっという間に過ぎ去り、最後は各ホーム毎に記念撮影。そして幹事である私が最後に挨拶をさせていただき、次は40歳にまた会いましょうと約束をし、みんなそれぞれの今日の楽しい思い出を胸に刻み、同窓会は無事終了しました。

同窓会実行委員会のメンバー、先生方、そして参加してくれた同級生、みんな一人ひとりが伏木高校卒業生としての自覚を持ち、おおいに盛り上げてくれました。本当に素晴らしい同窓会であったと思います。本当にありがとうございました!心より感謝申し上げます。

また、同窓会の風景はインターネットに公開してあります。下記アドレスよりアクセスをし是非ご覧ください。

代表幹事 鷲山 貴俊

<http://photos.yahoo.co.jp/fushiki44>



## 将来の自己実現のために

進路指導主事 村中 秀一

「キャリア教育」の推進が話題となっている昨今、本校では、生徒一人ひとりがしっかり自己実現できるよう、さまざまな企画を行い、支援しております。

7月の1、2年生対象の「職業人講話」では、PTAや同窓会の皆様方のご協力を得て、さまざまな職業についての苦労話や生き甲斐などを聞かせていただきました。これは、生徒たちにとってまさに生きた授業で、将来のことを考える上で非常に重要な役割を果たしております。また、例年の「進路講話」に加え、2年生は夏休みにオープンキャンパスを経験し、2、3年生は小論文の演習などを行っております。また、1年生では、7月上旬に、地元伏木の勝興寺、伏木北前船資料館と速水発条(株)などへの「伏木地区企業訪問・校外ウォーキング」を実施し、国際交流科に学ぶ生徒として、まずは地元を知り、広い視野に立ち、国際人として英語はもとより、第2外国語のさらなる習得をも視野に入れた進路選択をしてほしいと願っております。

将来を担う若者の健全な育成のためには、ますます地域や同窓会の方々のご援助をお願いすることになろうかと存じます。

今後一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

## 平成18年度 進路別現役合格者数 (延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	3名	鳥取・都留文科・富山
私立大学	71名	青山学院・帝京・京都産業・京都学園・関西外国語・関西・金沢工業・福井工業・北陸・金沢学院・金沢星稜・富山国際・龍谷・大阪商業・愛知学院 など
国公立短大	1名	山形県立米沢女子短期
私立短大	33名	富山短期・富山福祉短期・金沢学院短期・北陸学院短期・高山自動車短期・金城大学短期 など
文科省管轄外	4名	北陸職能開発大学校・ロシア極東国立総合大学函館校
専門学校	56名	富山県技術専門学院・富山理容美容・富山健康科学・厚生連高岡看護・高岡市立看護・富山医療福祉・富山情報ビジネス・国際ペットビジネス・金沢調理師・富山外国語・中日本航空 など
就職	16名	自衛官・高岡市消防士・伏木海陸運送(株)・(株)島屋・アイシン軽金属(株)・(株)ベネフレックス・セキハ(株)・日本ゼオン・(有)シマダ商事 など

## 部活動報告

Fushiki High School

### ◆◆◆ 平成19年度 部活動の記録 ◆◆◆

#### 〈体 操 部〉

- 富山県高等学校春季大会体操競技  
女子個人総合 第3位 今井奈津子(3年)  
富山県高等学校総合体育大会体操競技選手権大会  
女子団体総合 第2位 今井奈津子(3年)  
富山県ジュニア体操選手権大会  
女子A個人総合 第1位 今井奈津子(3年)  
第2位 竹澤 蘭香(1年)  
女子A平均台 第1位 今井奈津子(3年)  
第2位 竹澤 蘭香(1年)  
女子Aゆか 第1位 今井奈津子(3年)  
第2位 竹澤 蘭香(1年)  
女子A段違い平行棒 第1位 今井奈津子(3年)  
第2位 竹澤 蘭香(1年)  
女子A跳馬 第1位 今井奈津子(3年)  
第2位 竹澤 蘭香(1年)  
第60回富山県民体育大会 体操競技  
少年女子個人総合 第3位 今井奈津子(3年)

#### 〈陸 上 部〉

- 第60回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会  
女子3000m競歩 第7位 吉沢 由紀(2年)  
400mハードル 第7位 広瀬 武士(2年)  
第44回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会  
400mハードル 第2位 広瀬 武士(2年)  
女子3000m競歩 第4位 吉沢 由紀(2年)  
第12回北信越高等学校新人陸上競技大会  
400mハードル 第7位 広瀬 武士(2年)

#### 〈サッカー部〉

- 富山県高等学校総合体育大会サッカー競技選手権大会第2位

#### 〈吹奏楽部〉

- 第50回中部日本吹奏楽コンクール高等学校小編成の部 銀賞

#### 〈演 劇 部〉

- 第50回高岡・砺波地区高等学校演劇発表会 優秀賞

#### 〈書 道 部〉

- 第32回富山県青少年美術展 書部門 入選 金枝 志保(1年)

#### 第56回学生会ユネスコ弁論大会

- 高等学校の部 第3位 田中 利華(2年)

#### 第54回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール県大会

- 優秀賞 沈 道静(2年)

## インターハイに参加して

体操部 今井奈津子

今年初めてインターハイに出場し、たくさんのことを学ぶことができました。前日の練習会場では、他県の選手は予選で行う規程演技がすでに完璧で、一生懸命に自由演技の練習をじていました。私はといえば規程演技だけで精一杯で、他県の選手レベルの高さに圧倒され、自分の力を思い知らされました。

大会当日は、会場の大きさと観客数の多さに驚くばかりでした。自分の番が来るまでは緊張していましたが、実際演技が始まると落ち着いて自分の演技ができたと思います。しかし、段違い平行棒で落下があったりと悔しい面もありました。

この大舞台に立てたことは、今後の練習のよい刺激にもなりました。来年はインターカレッジに出場し、悔いの残らない演技をしたいと思います。

### 編集後記

会報第13号をお届けします。

今回は、創立80周年関連の記事を中心に掲載させていただきました。同窓会の皆様には、周年記念事業の遂行にあたり、物心両面にわたり多大なご協力いただきました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。今後とも、母校の更なる発展のために、同窓会活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
  - ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
  - ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日
  - ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。  
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
  - ⑤来年度の総会を8月14日(木)に予定しています。
- 受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707